

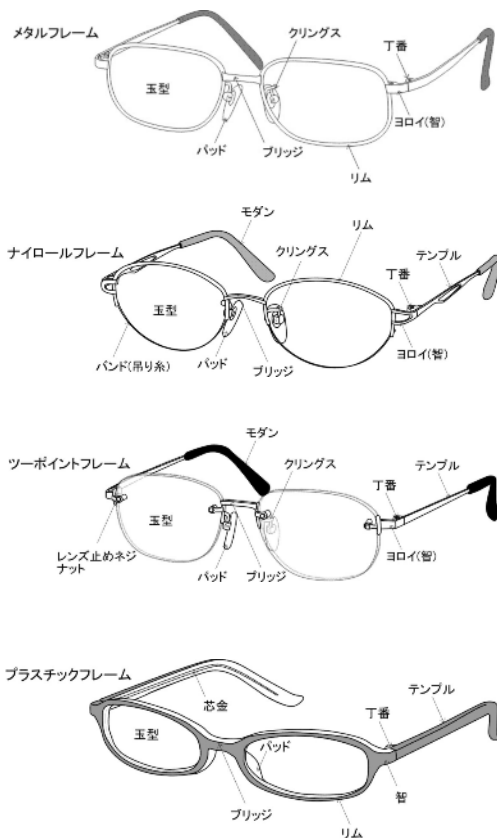
機械器具 71 視力補正用眼鏡
一般医療機器 眼鏡 JMDNコード: 35065000

老眼鏡

【禁忌・禁止】

- 眼鏡を掛けたまま歩いたり、車の運転をしないこと。

【形状・構造及び原理等】



レンズ度数: +0.50~+8.00

【使用目的又は効果】

眼鏡レンズ1組と眼鏡フレームからなる視力補正用眼鏡(老眼鏡)である。

【使用方法等】

- 手元の文字等を見る際に使用する。
- 掛けはずしの際は、両手でテンブルを持って行う。

【使用上の注意】

- この眼鏡は、手元の文字を気安くするための視力補正用眼鏡なので、掛けたまま歩いたり、車の運転はしないこと。
- 眼鏡の掛けはずしは、両手でテンブルを持って顔の正面で行うこと。掛ける際は、目をつく恐れがあるので、テンブルを十分に開いてゆっくり行うこと。
- 形くずれやゆるみの原因になるので、片方のテンブルのみを持って無理にはずさないこと。

- 近視、乱視、遠視の方には、合わないので使用しないこと。
- こめかみに当たる部分とパッドはよく拭き取ってから使用すること。
- サウナ等高温になる場所では使用しないこと。
- 整髪料、化粧品がメガネについたときは、劣化・変質・変化の原因となる可能性があるため、すみやかに拭き取ること。
- マスクとの併用は、レンズが曇るおそれがあるので注意すること。
- 眼鏡の掛け具合が悪く、鼻や耳に無理な負担がかかる時は、顔にあうフレームのものを選ぶこと。
- フレームが肌に触れる箇所にかゆみ、かぶれ、湿疹など異常がある時、又は異常が現れたときには眼鏡の使用をやめ、医師に相談すること。
- 持ち運びの時は、ケースに入れておくこと。

【保管方法及び有効期間等】

- 眼鏡ケースに入れ、直射日光の当たる場所は避けて室内で保管する。
- レンズをキズつける恐れがあるので、硬い金属等と一緒にしないこと。

【取扱上の注意】

- テンブルを強く曲げると折れることがあるので、しないこと。
- 炎天下の自動車内には放置しないこと。
- 眼鏡は、レンズ、フレームとも高温(60℃以上)にさらされたり、急激な温度変化にあうと変形したり、表面層のはがれ、ひび割れを生じることがある。また、熱によってフレームやレンズが変形して、見え方に悪影響を及ぼす可能性があるため注意すること。
- レンズを拭く時は、ほこりを落とすか水洗いをする。無理に力を入れて拭くとフレームの型くずれ及び素材の劣化による破損の原因になるのでしないこと。
- 眼鏡を置く時は、レンズの凸面を上向きにすること。下向きにするとキズの原因になるのでしないこと。
- 眼鏡が濡れた時は、水あとがしみになって取れにくくなるので、ティッシュペーパーやメガネ拭きで拭きとること。
- 各部の素材は、経年変化や摩擦・ゆるみ等のため、変色・変形したり折れたり、表面層のはがれやヒビ割れによる素材の露出が起こる場合がある。

【保守・点検に係わる事項】

- 丁番ねじがゆるんだときは、ドライバーでしめること。
- ゴミ・ホコリ等、汚れが付着したときは、中性洗剤を薄めた液に浸し指先で汚れを落とした後、柔らかい布で軽く拭くこと。
- ゴミやホコリが付着したときは、まず水洗いしてから拭くこと。カラ拭きはキズの原因になるのでしないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元: 名古屋眼鏡株式会社
TEL: 052-261-6561

製造業者: Jiangsu East Optics Co., Ltd. (中華人民共和国)